

人と暮らし、環境に優しい福祉社会の実現

2004年 福岡県民さわやかマラソン

1500人走る、家族のふれあい、勤労者の健康増進、“汗”楽しむ

マラソン日和の11月14日(日)、緑の芝、森と海、潮のかおりを受けて「2004年福岡県民さわやかマラソン」が開催されました。目的は、心身ともに、たくましい青少年の育成や勤労者の健康増進を図ると共に、今日の世情を払拭し、家族のふれあいを通じ豊かでゆとりある県民生活の実現を目指すことです。

参加者は、遠くは群馬県、沖縄県、兵庫県から、年齢は小学1年生から最高齢者の84才(男性)まで、応援家族も含めると2500人近くの仲間が広い芝の中で強いきずなを深めました。

ゲストランナーに迎えた元五輪銀メダリスト君原健二さんが、「走る楽しさ、健康づくり、決して無理をせず、自分のペースに合わせ、自然環境を見つめ、日々のリフレッシュにしてほしい。私も5kmを皆さんといっしょに走ります。」と挨拶されました。

エアロビクスでの準備体操の後、小学生から48種目(1km、2km、5km、10km)にわかれてスタート。親子ペア組ゴールでは、子供は元気、親はたおれこむ等日頃の運動不足も露呈しました。子供の成長を確認するなど、ふれあいながら汗を流しました。目的のふれあい団らんの楽しい一日になりました。

この大会の開催にあたり、多くの団体、企業からご支援、ご協賛を頂きました。そしてボランティアで活動していただきました多くの方々に深く感謝申し上げます。



■ 協賛企業・団体 ■

電機連合福岡地方協議会 / 福岡県教職員組合 / 情報労連福岡県協議会 / U-ゼンセン同盟福岡県支部 / 太平印刷株式会社 / 福岡県北九州地域労働者福祉協議会 / 西部ガス労働組合 / 福岡銀行 / 西日本シティ銀行 / 福岡県高等学校教職員組合 / 西日本鉄道労働組合 / 全国一般労働組合福岡地方本部 / 黒崎播磨労働組合 / ベスト電器労働組合 / 福岡県生活協同組合連合会 / レイクサイドホテル久山株式会社 / ダイエーユニオン / 福岡県南筑後地域労働者福祉協議会 / 連合福岡南筑後地域協議会 / 新九州電力労働組合福岡支部 / 博多シティホテル / 福岡地域労働者福祉推進協議会 / 有限会社 白雲社 / 社団法人北九州総合労働会館 / 私鉄九州地方連合会 / 全日本運輸産業労働組合福岡県連合会 / 基幹労連福岡県本部 / 日産労連福岡地協 / JPU福岡県連絡協議会 / 北九州電力総連 / 財団法人西鉄労働会館 / 新九州電力労働組合本店支部

■ 特別賞協賛企業・団体 ■

株式会社チロリアン(菓子) / 慶州さくらマラソン大会&ウォーク実行委員会(マラソン招待券) / ホテル海の中道(宿泊券) / 株式会社ホークスタウン(シーホークホテル&リゾート)(宿泊券) / 株式会社石村萬盛堂(菓子) / 農事組合法人 福米組合(はかた地どり) / 福岡県ごはん食推進委員会・JAグループ福岡(つくしroman)

■ 特別協力企業等 ■

株式会社ふくれん(ジュース) / コカ・コーラウエストジャングループ(飲物・紙コップ) / ミズノ株式会社九州支社

■ 広告掲載企業・団体 ■

株式会社新出光 / 株式会社ふくれん / トヨタ自動車九州株式会社 / ㈱フランソア / ㈱サニー / 福岡ドーム(シーホーク) / ホテルグリンドウ / ㈱京都館 / 英彦山湯〜遊〜共和国 / ホテル海の中道 / NTT西日本 / 財団法人二又教育文化振興奨学会 / ゴム連合福岡県協議会 / 株式会社トーヨー九州支社 / 自治労福岡県本部 / 福岡県信用保証協会 / 株式会社さかえ屋 / 西日本鉄道株式会社 / 株式会社穴吹工務店 / 九州労働金庫福岡県本部 / イオン九州(株) / 阿蘇プリンスホテル / アークホテル博多 / 全労済福岡県本部 / パナソニックコミュニケーションズ株式会社 / コカ・コーラウエストジャングループ / カネボウフーズ九州販売株式会社 / 慶州さくらマラソン大会&ウォーク実行委員会 / シティックスカード株式会社 / ジャパン福岡ペブシコーラ販売株式会社 / ミズノ株式会社 / 株式会社グリーンリサイクル / 福岡空港ビルディング株式会社 / 乗馬クラブ クレイン

平成17年度

麻生県知事へ予算要請書提出

10月25日、県労福協、連合、労金、全労済、生協連、北九州総合労館に対する平成17年度福岡県予算編成に向けて、連合福岡議員懇話会会長、新村幹事長、6団体代表の出席のもと麻生県知事へ要請書の提出を行いました。

提出にあたり、中村副会長より「500万人の県民の生活、社会福祉、雇用、環境、安全安心ネットワーク作り」に日夜奮闘いただき、又日頃より労働者福祉向上に向けて、労働団体ならびに福祉事業団体の諸活動に深いご理解とご協力を賜り心から敬意と感謝を申し上げます。特に15才から24才の失業率が13.7%と際立って高い若年層の早期就業を支援する『若年者しごとサポートセンター』を他県より早く取り組んでいることに対してもお礼申し上げます。日本の経済は緩やかな回復基調にあるといわれています。私達を取り巻く環境は、可処分所得が5年間におよびマイナス、年金、医療、社会福祉に対する負担増など生活への不安は続いています。労福協はこうした情勢を解消するために安心、安全ネットワーク作りに向け諸活動を展開しています。予算編成に向けての要請は、中小、未組織労働者や福祉社会作りへの政策推進にとって極めて重要です」と挨拶がありました。



伏下事務局長説明



中村副会長より麻生知事へ

続いて、伏下事務局長より各団体の要請内容とその理由について説明を行いました。要請に対して麻生知事は、「来年度の予算は来月から具体的な作業に入りますが、状況は厳しいものがあります。特に三位一体の改革により特段の厳しさがあります。県民生活の安定、安心を考えてやっていきたいと思っています。皆様方には、勤労者全体の福祉を良くしようと努力されていることに感謝申し上げますとともに、日頃から県政に関心を持って、多岐に渡りご意見をいただいていることに対しお礼申し上げます」との見解を述べられました。

2004年度 労福協南部ブロック研修会開催

「労福協が動く！地域が変わる！～勤労者の福祉を確かなものに」



中武会長あいさつ

11月5日、宮崎市「ホテルプラザ宮崎」において研究集会が開催されました。目的は南部労福協が現在取り組んでいる「労働組合と福祉事業団体との協力体制再構築に向けて」を具体化するため、「クレ、サラ問題」「年金問題」など今日的関心事を取り上げ、若い組合員に福祉事業団体の役割と責任について新たな認識を持っていただく研究集会でした。中武会長より、「2007年からの団塊世代が企業停年を向える中で福祉事業団体は、フォローアップをどうするか、50才以下の組合員がどう利用していく教育を進めるのか、大切な時代です。若者のカート利用状況を見ると(銀行24% 利息15%) (信販14% 利息20%台) (労金7% 利息7.5%)で、この状態の中で若者は何を求めているか、労働者の作った銀行、「ろうきん」を知らない人が多いのではないかと、これらを我々がどう伝えて行くかが大切です。」と挨拶されました。

活動報告では労金、全労済から、「労金」は、はたらく人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関です。「全労済」は、組合員の生活保障設計運動構築に向けた方向性を示すと共に、安心、安全を保障するためのサポートです。そのための提言が報告されました。そして「クレ、サラ」による借金のこわさ、生活の安全チェックの大切さ等が講演されました。

最後に「これからどうなる年金問題」(一橋大学教授高山憲之氏)によりこれまでの年金運用の問題や、今後は自分が積立てた年金額が毎年1回はわかり、安心出来るシステム作りが大切である、行動を起せば、法律は変えることが出来る。頑張りましょうと提言されました。

自ら学び行動する必要性を感じた2日間でした。



熱心に聞き入る参加者

2004年 県・地域労福協「福祉募金」の取り組み

一歩前へ出よう。何かが出来る、応援しよう。

県労福協は、99年より連合及び構成団体の協力を得ながら「福祉募金」について取り組み6年目を迎え、今日まで多くの施設や社会福祉協会から感謝の言葉を頂くなど成果をあげて参りました。労福協の重点的取り組みとして地域に根ざした取り組みにより運動が広がり定着化しています。02年から地域に密着し地域の特性を生かし、主体は「地域労福協」単位の取り組みとし、活動が進められています。県労福協は全県をフォローアップしていくために構成団体へオルグ等を行い取り組みを進めます。労福協構成団体のご理解とご協力をお願い申し上げます。



1. 募金の趣旨 ⇒ 地域社会全体を見ますと、心身共にハンディキャップを背負いながらも自立を目指し懸命に生き抜いておられる方々が数多くいます。私たち一人ひとりの善意によって、社会との連帯活動を発展させ、ハンディキャップを克服し、社会参加を目指す人達の福祉向上のため、支援の輪を広げていくことを目的に福祉募金に取り組みます。
2. 目標額 ⇒ 1人100円以上を目途に任意募金とする。
3. 使途 ⇒ 原則「物品寄贈」とし、具体的内容については地域労福協幹事会で決定対応する。
4. 募金期間 ⇒ 当年12月～明年2月
5. 集約期間 ⇒ 明年3月～明年4月中旬
6. 集約方法 ⇒ 原則地域集約とする。
 地域労福協 ⇒ ①地域における産別対応とし、地域対応が困難な場合は県労福協がある。
 ②産別・連合未加盟組織、友好団体
 ③事業団体、支店、支所
 ④街頭カンパ
 県労福協 ⇒ ①連合及び産別との個別調整(リスト化)
 ②地域対応不可能「産別本部」対応
7. 施設の推薦と寄贈 ⇒ 全て地域労福協対応とする。(当該社協との連携)
8. その他 ⇒ ①マスコミ、情宣活動
 ・展開に伴う情宣活動、マスコミ対応は地域労福協
 ・県労福協は「ろうふく協NEWS」、ポスター、チラシ等作成
 ・関係団体の機関紙掲載を要請
 ②県労福協集約金の配分について
 全体の集約状況を見ながら地域労福協と別途定める。

2004年度

推進強化月間展開中!! (10月~12月)

制度の見直しで **掛金引き下げ** を実現しました!! 2004年10月制度制定

特報!

新掛金・新制度!

ぐーっと身近になりました。

マイカー共済

自動車総合補償共済

ぐーっと
ますます
掛金見直しでおトクに!
基本補償掛金を最大

19.2%

引き下げ
しました!!
掛金ぐーっと下かて
家計もGood!



★掛金をお見積りします。詳しくは各支所まで!!

- 福岡支所** 福岡市中央区舞鶴 1-1-7 全労済モルティ天神ビル3F
〒810-8611 ☎ 092-732-4047 FAX 092-732-3400
- 北九州支所** 北九州市小倉北区真鶴 1-5-15 真鶴会館3F
〒803-0844 ☎ 093-591-7220 FAX 093-591-7225
- 筑後支所** 久留米市東町42-14 ワカサナテートビル3F
〒830-0032 ☎ 0942-38-8211 FAX 0942-38-8247

万一事故を起こしたときも安心!

いざというときは、
マイカー共済ダイヤルサービス
まで、ご連絡ください。

事故を起こして
しまったら

事故受付ダイヤル

休日・夜間を問わず、24時間・365日の事故受付。
※自動車共済のみの加入の場合は、加入時にお渡しする「自賠責共済のしおり」
に記載している最寄りの「自賠責共済共同受付センター」にご連絡ください。

0120-0889-24 ※携帯電話・PHSからも
ご利用いただけます。

さらに、故障の時にも「**無料ロードサービス**」
気になるサービス内容は

24時間
365日受付

24時間コールセンター受付

現地にて実施可能な30分以内の
路上クイックサービス

自走不能な場合のレッカーけん引
または積載車による運搬

脱輪・落輪引き上げサービス

人身傷害補償、または、車両損害補償を付帯契約されている場合にご利用いただけます。

新 割引でさらにおトクに。

新車割引 9%!!

基本補償・車両損害補償の共済掛金を9%割引

新契約の共済期間の効力開始日が被共済自動車(普通、小型乗用車)の
初度登録年月の翌月から25ヶ月以内の場合に適用されます。

**35歳以上
割引**

年齢を
問わず補償

21歳以上
補償

26歳以上
補償

30歳以上
補償

35歳以上
補償

の5つから
選択可能

運転される方が、35歳以上に限られる場合、掛金がさらにお得。30歳以上補償より **5%割引**

● **訂正とおわび** ●

「割引契約施設」ろうふく協NEWSvol.75に誤記載があり
訂正しおわび申し上げます。

阿蘇プリンスホテルゴルフ場

お知らせ

ろうふく協NEWS編集委員交代
倉田英之→大塔鉄雄(全労済福岡県本部)

【ゴルフ料金表】

料金には1Rのグリーンフィー・キャディーフィーまたはカートフィー・利用税・諸経費・消費税が含まれております。

期 間	曜 日	東コース	西コース
A 4/1~7/15 9/1~11/30	平 日	¥11,200	¥ 8,500
	土 休 日	¥14,300	¥11,600
B 7/16~8/31	平 日	¥12,200	¥ 9,500
	土 休 日	¥15,300	¥12,600

◎ご予約の際は「阿蘇遊日(あそあそび)プラン」とお申しつけください。

お問合せ・ご予約 **プリンスホテル予約センター**

TEL 0120-00-8686 FAX 092-751-4825 営業 石田まで

さまざまなニーズに応える
安心のろうきんローン

住宅ローン、フリーローン、
教育ローン、カーライフローン、
カードローン(マイプラン)

ホームページアドレス
<http://kyushu.rokin.or.jp>

お問い合わせは

九州労働金庫福岡県本部
(092) 714-7143



責任品質。

- 自然災害補償付 火災共済
- 総合医療共済
- マイカー共済
- こくみん共済
- 自賠責共済
- ねんきん共済

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済
事業を営み、組合員の皆様の安心とゆとりある暮らし
をめざしています。すでに組合員は全国で1,390万人。
出資金をお支払いいただいで各都道府県生協の
組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

全国労働者共済生活協同組合連合会

全労済福岡県本部 (福岡県労働者共済生活協同組合)
TEL 092-739-6100
インターネットホームページアドレス

加 盟 団 体

北九州地域労福協/遠賀川地域労福協/福岡地域労福協/北筑後地域労福協/南筑後地域労福協/筑紫・甘朝地域労福協
京築・田川地域労福協/連合福岡/九州労働金庫福岡県本部/全労済/住宅生協/生協連/真鶴会館